

令和7年度保険者機能強化推進交付金(市町村分)評価指標に係る取組の状況

目標Ⅰ 持続可能な地域のあるべき姿をかたちにする(配点100点)

【資料3-1】

(1)体制・取組指標群(配点64点)		指 標	時点	回答欄	得点	配点	記載事項・提出資料	市の対応状況	今後の予定など	担当	
1	地域の介護保険事業の特徴を把握しているか。 ※ウに該当する場合はイに、エに該当する場合は、ア又はイのいずれかに該当していることが望ましい	ア 「地域包括ケア「見える化」システム」を活用し、サービス資源や給付費等の現状把握・分析等を行っている	2024年度実施(予定を含む)の状況を評価	○	4点	4点	○ アについては、次のような「地域包括ケア「見える化」システム」を活用した分析結果を記載。 ① 分析に活用したデータ ② 分析方法、全国その他の地域(具体名)との比較区や経年変化(具体的年数)の分析等 ③ 当該地域の特徴 ④ その要因 ○ ウについては、住民に対する周知の方法(パンフレットの配布、広報紙への掲載、ホームページへの掲載等)を記載。 ○ 上記について、既存の資料(審議会資料、パンフレット等)がある場合には当該資料の該当部分の添付をもって代えることも可。 ○ エについては、地域における介護保険データの公表等住民や関係者との共通理解を進める取組の具体例を記載。	イ 府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(第9期)により把握・整理している。 ウ 周知方法「介護保険ガイド&おとしよりのふくし」冊子の配布やホームページへの掲載、個別対応での周知、地域密着型サービス空き情報を毎月の市ホームページへ掲載している。 エ 府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(第9期)により把握・整理している。 地域包括支援センター圏域ごとの課題や実施状況について、「府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画推進等協議会」において報告し、ホームページ等で公表している。 <a href="https://www.city.fuchu.tokyo.jp/gyosei/kekaku/kyogikai/kenko/kore/dai10kore/index.html">https://www.city.fuchu.tokyo.jp/gyosei/kekaku/kyogikai/kenko/kore/dai10kore/index.html</a>	継続実施。 今後も見える化システムを活用しながら、サービス資源や給付費等の現状把握・分析を行う。	介護保険課介護サービス係	
		イ 日常生活圏域別の特徴を把握・整理している	○	4点	4点	令和5年度に策定した、府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(第9期)により改めて把握・整理しており、令和8年度に策定予定の第10期計画の策定において、改めて把握・整理を行う予定。			高齢者支援課地域包括ケア推進係		
		ウ 地域の介護保険事業の特徴を踏まえ、相談窓口やサービスの種類・内容、利用手続などについて、住民に周知を行っている	○	4点	4点	「介護保険ガイド&ふくしのしおり」冊子の配布やホームページへの掲載、個別対応での周知を継続実施を行い、市民が情報収集する上の、利便性を高めるような掲載方法の工夫について検討する。			高齢者支援課相談担当 介護保険課介護保険制度担当		
		エ 地域の介護保険事業の特徴を公表している	○	4点	4点	「府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画推進等協議会」における報告及びホームページ等での公表を継続実施。			高齢者支援課地域包括ケア推進係		
2	介護保険事業計画の進捗状況(介護サービス見込量の計画値と実績値の乖離状況)を分析しているか。 ※ア→イ→ウ→エの順で該当していることが望ましい	ア 毎年度、計画値と実績値の乖離状況について、モニタリングを行っている	2024年度実施(予定を含む)の状況を評価	○	4点	4点	○ ア及びイについては、モニタリング実施日又は検証実施日を記載。なお、会議の名称がある場合は、当該会議の名称も併せて記載。 ○ ウについては、見直しの内容又は見直しを行うプロセスの概要を記載。 ○ エについては、公表した資料の名称、公表時期及び公表場所(ホームページ)を記載。	ア 府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画推進等協議会において、第9期計画の事業の進捗状況を把握し、評価している。 イ 同上 ウ 見直しのプロセスを「前年度の実績を確認」→「前年度の進捗確認と同時に当該年度の取組に係る今後の方針・改善点を記載し、同協議会にて併せて報告」→「見直し」としている。 エ 府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画推進等協議会の開催結果を市ホームページで公表している。 <a href="https://www.city.fuchu.tokyo.jp/gyosei/kekaku/kyogikai/kenko/kore/dai10kore/index.html">https://www.city.fuchu.tokyo.jp/gyosei/kekaku/kyogikai/kenko/kore/dai10kore/index.html</a>	継続実施。	高齢者支援課地域包括ケア推進係	
		イ モニタリングの結果を外部の関係者と共有し、乖離の要因やその対応策について、外部の関係者を含む議論の場で検証を行っている	○	4点	4点	継続実施。					
		ウ モニタリングの結果やイの検証を踏まえ、サービス提供体制について必要な見直しを行っている	○	4点	4点	継続実施。					
		エ モニタリングの結果を公表している	○	4点	4点	継続実施。					
3	自立支援、重度化防止等に関する施策について、実施状況を把握し、必要な改善を行っているか。 ※ア→イ→ウ→エの順で該当していることが望ましい	ア 毎年度、次の施策分野ごとに事業の実施状況を定量的に把握し、データとして整理・分析している	2024年度実施(予定を含む)の状況を評価	① 介護予防・生活支援サービス	○	1点	1点	○ アについては、①～④ごとに、整理しているデータの内容を記載。 ○ イについては、①～④ごとに、事業の効果を検証するための評価指標の内容を記載。 ○ ウについては、①～④ごとに、把握した課題の内容、見直し・改善の内容又はそれらを行うプロセスの概要を記載。 ○ エについては、①～④ごとに、公表しているデータの内容、公表時期、公表場所(ホームページ)を記載。	ア① 訪問型サービス、通所型サービス、介護予防ケアマネジメント等の件数と金額を毎月、実績として整理している。 ア② 各地域包括支援センターへ委託している事業(普及啓発事業)について毎月、事業の回数、参加人数等を一覧表にて整理している。 ア③ 認知症サポーター養成講座参加者数、初期集中支援チーム対応数、認知症家族介護者教室参加者数などを実績として整理している。 ア④ 会議体の開催状況、研修の実施状況等関連事業の実績を把握し、整理している。 イ 高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の評価指標に基づき定めている。 ウ①② 年度の前半の終了、年度の終了の1か月前を目安に担当者で会議を開き、見直し・改善について検討する。その内容を課内で共有し、さらに関係機関へも定期的な会議にて周知をしている。計画が固まった段階で計画協議会にて報告する。 ウ③ 認知症の方の支援の流れが不明確→医療に関しては広域での対応のシステム化の検討、普及啓発の強化(若年含め)等。医療・介護連携会議での専門職の意見等をふまえて見直しを行っている。 ウ④ 医療と介護で共有認識、身寄りのない方の支援、連携のためのツール(ふちゅナビ)の活用等が不十分→個別ケースや研修会議医を通して共有の認識を増やす。備えることの普及啓発(若い世代も含めて)、場面ごとの連携方法の検討、身元保証がなくても受診ができるところを速やかに探せる検討等。医療・介護連携会議での専門職の意見等をふまえて見直しを行っている。 エ 高齢者保健福祉計画・介護保健事業計画協議会で報告した内容をHPIにて公表している。 <a href="https://www.city.fuchu.tokyo.jp/gyosei/kekaku/kyogikai/kenko/kore/dai10kore/index.html">https://www.city.fuchu.tokyo.jp/gyosei/kekaku/kyogikai/kenko/kore/dai10kore/index.html</a>	今後も継続して、件数と金額について毎月、実績の整理を行う。	高齢者支援課介護予防生活支援担当ア～エ各①② 高齢者支援課在宅療養推進担当ア～エ各③④
				② 一般介護予防事業	○	1点	1点			今後も継続して、毎月の事業実績の整理を行う。	
				③ 認知症総合支援	○	1点	1点			記載の事業の実績の把握と整理を継続実施。	
				④ 在宅医療・介護連携	○	1点	1点			在宅医介護連携会議2回、入退院部会2回、意思決定支援部会3回、認知症部会3回、日常の療養支援部会3回を開催予定。 在宅療養市民啓発講演会11月8日開催済み。ACP市民啓発講演会11月29日開催予定、多職種研修会1月～2月開催予定、市民啓発講演会3月6日開催予定。 病院、訪問診療医、訪問看護、包括等多職種の連絡会を計3回開催予定。	
		イ 次の施策分野ごとに事業の効果を検証するための評価指標を定めている	① 介護予防・生活支援サービス	○	1点	1点	継続実施。				
			② 一般介護予防事業	○	1点	1点	継続実施。				
			③ 認知症総合支援	○	1点	1点	継続実施。				
			④ 在宅医療・介護連携	○	1点	1点	継続実施。				
		ウ イの指標に対する実績等を踏まえ、毎年度、次の施策分野ごとに課題の分析、改善・見直し等を行っている	① 介護予防・生活支援サービス	○	1点	1点	継続実施。				
			② 一般介護予防事業	○	1点	1点	継続実施。				
			③ 認知症総合支援	○	1点	1点	継続実施。				
			④ 在宅医療・介護連携	○	1点	1点	継続実施。				
		エ 次の施策分野ごとにイの指標の達成状況を含む取組の成果を公表している	① 介護予防・生活支援サービス	○	1点	1点	継続実施。				
			② 一般介護予防事業	○	1点	1点	継続実施。				
			③ 認知症総合支援	○	1点	1点	継続実施。				
			④ 在宅医療・介護連携	○	1点	1点	継続実施。				

指 標		時点	回答欄	得点	配点	記載事項・提出資料	市の対応状況	今後の予定など	担当
4	保険者機能強化推進交付金等に係る評価結果を関係者間で共有し、自立支援、重度化防止等に関する施策の遂行に活用しているか。	ア 年に1回以上、評価結果を庁内の関係者間で説明・共有する場がある	○	4点	4点	<p>○ アについては、説明・共有の実施日を記載。なお、会議の名称がある場合は、当該会議の名称も併せて記載。</p> <p>○ イについては、どのような外部関係者が参画したかを記載。</p> <p>○ ウについては、アの場合における意見をどのように整理し、関係者間で共有しているかを記載。</p> <p>○ エについては、評価結果の公表場所（ホームページ等）を記載。</p>	<p>ア 府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画推進等協議会にて報告し意見を求める予定。</p> <p>イ 学識経験を有する者、介護保険サービス事業者、社会福祉関係団体の構成員、医療関係団体の構成員、公募市民などが参画している。</p> <p>ウ 同協議会において意見を求めることで、次年度の事業計画や各種施策の遂行に活かすこととしている。</p> <p>エ 令和6年度評価指標を府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画推進等協議会において資料配布する予定。</p>	<p>12月の府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画推進等協議会にて報告し意見を求める予定。</p> <p>継続実施。</p> <p>同協議会において意見を求めることで、次年度の事業計画や各種施策の遂行に活かす予定。</p> <p>令和6年度と同様に令和7年度評価指標についても、府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画推進等協議会において資料配布する予定。</p>	介護保険課介護保険制度担当
	イ アの場合には、庁内のみならず、外部の関係者が参画している	○	4点	4点					
	ウ アの場合における意見を、施策の改善・見直し等に活用している	○	4点	4点					
	エ 市町村において全ての評価結果を公表している	○	4点	4点					

(ii) 活動指標群(配点36点)

1	今年度の評価得点	ア 上位7割	2024年度実績を評価	/	3点	3点			
		イ 上位5割			3点	3点			
		ウ 上位3割			3点	3点			
		エ 上位1割			0点	3点			
2	後期高齢者数と給付費の伸び率の比較	ア 上位7割	2017年→2023年の伸び率	/	3点	3点			
		イ 上位5割			0点	3点			
		ウ 上位3割			0点	3点			
		エ 上位1割			0点	3点			
3	PFS(成果運動型民間委託契約方式)による委託事業数	ア 上位7割	2023年度実績を評価	/	0点	3点	○ 右欄に、2024年度における委託事業数を記載。	委託事業数を記載。※単位の記載は不要	実施予定なし。
		イ 上位5割			0点	3点			
		ウ 上位3割			0点	3点			
		エ 上位1割			0点	3点			
配点合計 100点					府中市	76点			
					全国平均	59.4点			
					東京都平均	62.9点			
					26市平均	68.3点			

目標Ⅱ 公正・公平な給付を行う体制を構築する(配点100点)

(1) 体制・取組指標群(配点68点)

指 標		時点	回答欄	得点	配点	記載事項・提出資料	市の対応状況	今後の予定など	担当
1	介護給付費の適正化に向けた方策を策定しているか。 ※ア→イ→ウ→エの順で該当していることが望ましい	ア 地域のサービス資源や給付費等の動向を把握し、他の地域と比較・分析の上、介護給付費の適正化方策を策定している	○	8点	8点	<p>○ アについては、地域差の分析内容を記載するとともに、第9期計画又はその他の方策における該当部分を提出。</p> <p>○ イについては、取組の効果を検証するための評価指標の内容を記載。</p> <p>○ ウについては、方策の改善・見直し等を行うプロセスの概要を記載。</p> <p>○ エについては、公表内容、公表時期、公表場所（ホームページ等）を記載。</p>	<p>ア 第9期計画策定にあたり、「地域別高齢化率」「地域別認定率の比較」「地域別第1号被保険者1人当たりの給付月額」を用いて近隣市の状況を把握。これらより近隣市との概ね均衡が保たれていることを踏まえたうえで、要介護認定の適正化を行っている。</p> <p>イ 介護給付適正化の2事業(ケアプラン点検、縦覧点検・医療情報との突合)について、第9期計画にて目標値を設定している。</p> <p>ウ 策定した計画については、府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画推進等協議会にて、改善見直し等を行い次期計画策定に反映する予定。</p> <p>エ 達成状況は、府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画推進等協議会の記録として、ホームページにて公開される予定。</p>	<p>状況に応じて、近隣市の状況を見据え、介護給付の適正化を実施する。</p> <p>介護給付適正化の2事業(ケアプラン点検、縦覧点検・医療情報との突合)について、第9期計画にて目標値を設定している。</p> <p>策定した計画については、府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画推進等協議会にて、改善見直し等を行い次期計画策定に反映する。</p> <p>令和6年度の達成状況は、府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画推進等協議会の記録として、ホームページにて公開される予定。</p>	介護保険課介護保険制度担当
		イ 介護給付費の適正化方策に基づく取組の効果を検証するための評価指標を定めている	○	8点	8点				
		ウ イの指標に対する実績等を踏まえ、毎年度、取組の課題の分析、改善・見直し等を行っている	○	8点	8点				
		エ イの指標の達成状況を含む取組の成果を公表している	○	8点	8点				

2	介護給付費適正化事業を効果的に実施しているか。	ア 3事業の全てを実施している	2024年度実施(予定を含む)の状況を評価	○	6点	6点	<p>○ アについては、右欄①の主要5事業のうちから実施している事業を選択。</p> <p>○ イについては、右欄②の4帳票のうちから点検している帳票を選択。</p> <p>○ ウについては、対象の抽出方法等取組の概要を記載。</p> <p>○ エ及びオについては、仕組みの概要を記載。</p> <p>※ ア及びイは左欄の表に○を記載することにより、自動転記。</p>	<p>①3事業のうち実施している事業を記載。＜選択式＞</p> <p>○ 要介護認定の適正化</p> <p>○ ケアプラン等の点検</p> <p>○ 縦覧点検・医療情報との突合</p>		介護保険課介護サービス係									
											イ 縦覧点検10帳票のうち、効果が高いと期待される4帳票をいくつ点検しているか	○	2点	2点	<p>②「縦覧点検10帳票のうち、効果が高いと期待される4帳票」のうち実施している帳票を記載。＜選択式＞</p> <p>○ ① 居宅介護支援請求におけるサービス実施状況一覧表</p> <p>○ ② 重複請求縦覧チェッカー一覧表</p> <p>○ ③ 算定期間回数制限縦覧チェッカー一覧表</p> <p>○ ④ 単独請求明細書における準受付審査チェッカー一覧表</p>				
																ウ ケアプラン点検の実施に当たって、有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅の入居者に係るものも含めている	×	0点	8点
オ 福祉用具購入費・住宅改修費の申請内容について、リハビリテーション専門職等がその妥当性を検討する仕組みがある	○	8点	8点	<p>オ 住宅改修における申請については全てリハ職が審査を行い、疑義のある申請についてはリハ職による住宅改修物件への訪問調査を実施している。</p> <p>引き続き住宅改修における申請の点検及び疑義のある住宅改修のための理由書などは作成者及び工事業者への確認を実施する。</p>															

(ii) 活動指標群(配点32点)

指 標		時点	回答欄	得点	配点	記載事項・提出資料	市の対応状況	今後の予定など	担当	
1	ケアプラン点検の実施割合	ア 上位7割	2023年度実績を評価	0点	4点	○ 右欄に2023年度における実際のケアプラン点検数を記載。	ケアプラン点検数を記載。※単位の記載は不要	0	従前のケアプラン点検実施に加え、評価件数の対象になるケアプラン点検の実施について、引き続き検討する。	介護保険課介護制度担当
		イ 上位5割		0点	4点					
		ウ 上位3割		0点	4点					
		エ 上位1割		0点	4点					
2	医療情報との突合の実施割合	ア 上位7割	2023年度実績を評価	0点	4点	○ 右欄①に2023年度における実際の点検件数を記載。 ○ 右欄②に2023年度における出力件数を記載。	147	①実際の点検件数	今後も費用対効果が期待される帳票に重点化した点検を行い、実施件数の拡大を図る。	介護保険課介護サービス係
		イ 上位5割		0点	4点		184	②出力件数		
		ウ 上位3割		0点	4点		79.9%	←自動計算(単位:%) ※①・②ともに単位の記載は不要		
		エ 上位1割		0点	4点					
配点合計 100点		府中市		52点						
		全国平均		65.4点						
		東京都平均		64.6点						
		26市平均		70.6点						

目標Ⅲ 介護人材の確保その他のサービス提供基盤の整備を推進する(配点100点)

指 標		時点	回答欄	得点	配点	記載事項・提出資料	市の対応状況	今後の予定など	担当			
1	地域における介護人材の確保・定着のため、都道府県等と連携しつつ、必要な取組を実施しているか。	ア 地域における介護人材の現状や課題を把握し、これを都道府県や関係団体と共有している	○	6点	6点	○ アについては、都道府県や関係団体と共有している資料を提出。 ○ イについては、取組の概要を記載。 ○ ウについては、独自事業の概要を記載。 ○ エ及びオについては、公表内容、公表時期、公表場所(ホームページ等)を記載。	ア 東京都と市区町村において介護人材対策区市町村担当者連絡会にて、介護人材の現状や課題を整理、共有している。 イ 東京都が行う「かいてチャレンジ職場体験」事業について、事業の情報共有を行うとともに、市内施設へのチラシ配架や市の広報にて掲載を行った。 ウ 「府中市生活支援員養成研修」:介護予防・日常生活支援総合事業の訪問型サービス(市独自基準サービス)の担い手を養成し、介護人材を確保することを目的に実施。4日間で計16時間程度の研修を行い、研修終了後に市内事業所からの説明会を開催する。 「介護職員初任者研修費用助成事業」「社会福祉士資格取得費用助成事業」:東京都「区市町村介護人材確保対策事業費補助金」を活用している。 エ ウの結果を高年齢者保険福祉計画・介護保険事業計画の進捗管理の一環で評価し、公表している。	ア 東京都と市区町村において介護人材対策区市町村担当者連絡会にて、介護人材の現状や課題を整理、共有する。 東京都が行う介護人材の確保に関する啓発事業対し協力を行う(広報・メール・庁内デジタルサイネージの活用等)。	引き続き、東京都と市区町村において介護人材対策区市町村担当者連絡会にて、介護人材の現状や課題を整理、共有する。	介護保険課介護保険制度担当		
	※エに該当する場合はイ又はウのいずれかに該当していることが望ましい	イ 都道府県や関係団体の取組と協働した取組を行っている	○	6点	6点						東京都が行う介護人材の確保に関する啓発事業対し協力を行う(広報・メール・庁内デジタルサイネージの活用等)。	介護保険課介護保険制度担当
		ウ 市町村としての独自事業を実施している	○	6点	6点						「府中市生活支援員養成研修」を今後も実施予定。参加者及び就労に結びつく方が少ない状況のため、事業そのものを見直す必要がある。 「介護職員初任者研修費用助成事業」「社会福祉士資格取得費用助成事業」については、東京都「区市町村介護人材確保対策事業費補助金」を活用し今後も継続していく。	高年齢者支援課介護予防生活支援担当 地域福祉推進課社会福祉係
		エ イ又はウの取組の成果を公表している	○	6点	6点						令和7年度の「府中市生活支援員養成研修」について12月9日～25日に実施。結果についても、同様に計画の進捗管理の一環で評価し、公表する予定。	介護保険課介護保険制度担当 高年齢者支援課介護予防生活支援担当
		オ 地域における介護人材の将来的な必要数の推計を行い、これを公表している	×	0点	6点						介護人材の確保の施策を実施するにあたり、東京都が把握する介護職員の需給推計を参考に、府中市における介護職員の将来推計の把握について検討する。	介護保険課介護保険制度担当

2	地域におけるサービス提供体制の確保や、自立支援・重度化防止、介護人材確保に関する施策等の推進に当たって、庁内・庁外における関係者との連携体制が確保されているか。	ア 介護・福祉関係部局や医療、住まい、就労関係部局など、高齢者の自立支援・重度化防止等に向けた庁内の連携を確保するための場又は規程がある	○	6点	6点	○ アについては、連携を確保するための場または規程の名称及びその概要を記載。 ○ イについては、どのような外部関係者が参画したかを記載。 ○ ウについては、①～⑤ごとに、どのように活用しているか(定期的に情報共有を行う、関係者間での協働事業を行うなど)を記載。 ○ エについては、取組の概要を記載。 ○ オについては、介護保険制度の枠組みを超えた連携の具体例を記載。	ア 名称:府中市居住支援協議会、概要:住宅確保要配慮者の民間賃貸住宅への円滑な入居を促進するため、不動産関係団体、居住支援団体、建築関係団体、府中市等が連携し、貸主に対する情報提供等や居住の安定方策に関する検討等を行う。 ア 一体的実施事業庁内連携会議:一体的実施に関する事業の打合せを行う。 ア・イ 府中市居住支援協議会:居住に関する情報を協議会内で共有し、連携を行い、必要な支援策について協議する。(不動産関係団体、建築関係団体、居住支援団体ほか) イ 介護人材対策区市町村担当者連絡会:東京都・市区町村の介護人材担当職員が参画 イ 地域リハビリテーション検討会議:サービス事業所や病院に勤務するリハ職、地域包括支援センター職員、介護予防推進センター職員、社会福祉協議会職員 イ 事業検討会:地域包括支援センター職員、介護予防推進センター職員、社会福祉協議会職員、リハ職 イ 在宅医療・介護連携会議:医療機関代表者、介護事業所代表者、社会福祉協議会ほか ウ① 地域リハビリテーション事業の中で定期的に情報提供を行う。 ウ② 事業検討会議の中で定期的に情報提供、検討を実施。 ウ③④ 医療・介護の専門職、関係団体からの意見の聴取と情報共有 ウ⑤ 定期的に開催し、都の現状、区市町村の取り組み状況を共有している。 エ 市の住宅部局及び福祉保健部局、不動産関係団体、居住支援団体等により、高齢者等の住宅確保要配慮者の住まいの確保に関する課題の把握と対応の検討を行っている。 オ 高齢者保健福祉計画・介護保健事業計画推進等協議会を生活支援体制整備事業の第1層協議体に位置付けている。また生活支援コーディネーターが地域支援コーディネーターを兼務しており、地域福祉コーディネーターが関わって運営している各日常生活圏域のわがまち支え合い協議会での地域づくりにおいて、連携体制により検討した内容や内容や共有した情報を活用。	一体的実施事業庁内連携会議(保険年金課後期高齢者医療係が中心。健康推進課成人保健係、高齢者支援課介護予防生活支援担当が参加)概ね年2回開催。	高年齢者支援課介護予防生活支援担当 介護保険課施設担当		
	※ウからオまでのいずれかに該当する場合はア及びイに該当していることが望ましい	イ 都道府県や事業者、関係団体、専門職等外部の関係者との連携を確保するための場がある	○	6点	6点					地域リハビリテーション事業の検討会議を隔月開催し、情報共有や事業の検討を実施。	高年齢者支援課介護予防生活支援担当①② 高年齢者支援課在宅療養推進担当③④ 介護保険課介護保険制度担当⑤
		ウ ア及びイの連携体制を、次の施策分野ごとの取組に活用している	○	2点	2点					介護予防事業検討会議を隔月開催し、情報共有や事業の検討を実施。	
		① 介護予防・生活支援サービス	○	2点	2点					継続実施(在宅医療介護連携会議、市民啓発講演会等)。	
		② 一般介護予防事業	○	2点	2点					継続実施(在宅医療介護連携会議、多職種研修会、市民啓発講演会、多職種の連絡会等)。	
		③ 認知症総合支援	○	2点	2点					引き続き、介護人材対策について、介護人材対策区市町村担当者連絡会へ出席することで、東京都と連携を図る。	
	④ 在宅医療・介護連携	○	2点	2点	引き続き、定期的で開催し、都の現状、区市町村の取り組み状況を共有することで、本市の取組む施策について検討する。	高年齢者支援課介護予防生活支援担当 介護保険課施設担当					
	⑤ 介護人材確保等	○	2点	2点	介護保険事業に留まらない地域づくりを関係機関とともに実施していく。	高年齢者支援課介護予防生活支援担当 介護保険課施設担当					
	エ ア及びイによる連携体制を活用し、高齢者の住まいの確保と生活の一体的支援に関する取組を実施している	○	6点	6点							
	オ ア及びイによる連携体制を、重層的支援体制整備事業の実施や地域の誰もが参画できる場づくりなど、介護保険事業に留まらない地域づくりにも活用している	○	6点	6点							

(ii) 活動指標群(配点36点)

1	高齢者人口当たりの地域住民に対する介護の仕事の魅力や伝達するための研修の修了者数	ア 上位7割	2023年度実績を評価	3点	3点	○ 右欄に2023年度における研修の修了者数を記載。	研修の修了者数を記載。※単位の記載は不要	6	「府中市生活支援員養成研修」を今後も実施予定。参加者および就労に結びつく方が少ない状況のため、事業そのものを見直す必要がある。	高年齢者支援課介護予防生活支援担当 介護保険課介護保険制度担当
		イ 上位5割		0点	3点					
		ウ 上位3割		0点	3点					
		エ 上位1割		0点	3点					
2	高齢者人口当たりの介護人材(介護支援専門員を除く。)の定着、資質向上を目的とした研修の修了者数	ア 上位7割	2023年度実績を評価	3点	3点	○ 右欄に2023年度における研修の修了者数を記載。	研修の修了者数を記載。※※単位の記載は不要	44	現状の介護サービス事業所の課題を踏まえ、介護人材の定着、資質向上を目的とした研修実施について検討する。	介護保険課介護保険制度担当
		イ 上位5割		0点	3点					
		ウ 上位3割		0点	3点					
		エ 上位1割		0点	3点					
3	介護支援専門員を対象としたケアマネジメントの質の向上に関する研修(介護支援専門員法定研修を除く。)の総実施日数	ア 上位7割	2023年度実績を評価	3点	3点	○ 右欄に2023年度における研修の総実施日数を記載。	研修の総実施日数を記載。※単位の記載は不要	5	継続実施予定。	高年齢者支援課地域包括ケア推進係
		イ 上位5割		3点	3点					
		ウ 上位3割		0点	3点					
		エ 上位1割		0点	3点					
配点合計 100点		府中市		70点						
		全国平均		46.6点						
		東京都平均		60.5点						
		26市平均		62.9点						

目標Ⅳ 高齢者がその状況に応じて可能な限り自立した日常生活を営む(配点100点)

成果指標群

指標	時点	回答欄	得点	配点	記載事項・提出資料	市の対応状況	今後の予定など	担当
1 軽度【要介護1・2】 (平均要介護度の変化Ⅰ) 短期的な要介護認定者の平均要介護度の変化率の状況はどのようになっているか。	ア 変化率の状況	① 全保険者の上位7割	(ア)2023年1月→2024年1月の変化率	0点	5点			
		② 全保険者の上位5割	0点	5点				
		③ 全保険者の上位3割	0点	5点				
		④ 全保険者の上位1割	(イ)2023年1月→2024年1月と、2022年1月→2023年1月の変化率の差	0点	5点			
	イ 変化率の差	① 全保険者の上位7割	5点	5点				
		② 全保険者の上位5割	0点	5点				
		③ 全保険者の上位3割	0点	5点				
		④ 全保険者の上位1割	0点	5点				
2 軽度【要介護1・2】 (平均要介護度の変化Ⅱ) 長期的な平均要介護度の変化率の状況はどのようになっているか。	ア 全保険者の上位7割	2020年1月→2024年1月の変化率	5点	5点				
	イ 全保険者の上位5割	5点	5点					
	ウ 全保険者の上位3割	0点	5点					
	エ 全保険者の上位1割	0点	5点					
3 中重度【要介護3～5】 (平均要介護度の変化Ⅰ) 短期的な要介護認定者の平均要介護度の変化率の状況はどのようになっているか。	ア 変化率の状況	① 全保険者の上位7割	(ア)2023年1月→2024年1月の変化率	5点	5点			
		② 全保険者の上位5割	5点	5点				
		③ 全保険者の上位3割	0点	5点				
		④ 全保険者の上位1割	(イ)2023年1月→2024年1月と、2022年1月→2023年1月の変化率の差	0点	5点			
	イ 変化率の差	① 全保険者の上位7割	0点	5点				
		② 全保険者の上位5割	0点	5点				
		③ 全保険者の上位3割	0点	5点				
		④ 全保険者の上位1割	0点	5点				
4 中重度【要介護3～5】 (平均要介護度の変化Ⅱ) 長期的な平均要介護度の変化率の状況はどのようになっているか。	ア 全保険者の上位7割	2020年1月→2024年1月の変化率	5点	5点				
	イ 全保険者の上位5割	5点	5点					
	ウ 全保険者の上位3割	5点	5点					
	エ 全保険者の上位1割	5点	5点					
5 健康寿命延伸の実現状況 要介護2以上の認定率、認定率の変化率の状況はどのようになっているか。	ア 認定率	① 全保険者の上位7割	(ア)2024年1月の認定率	5点	5点			
		② 全保険者の上位5割	0点	5点				
		③ 全保険者の上位3割	(イ)2023年1月→2024年1月の変化率	0点	5点			
		④ 全保険者の上位1割	0点	5点				
	イ 認定率の変化率	① 全保険者の上位7割	0点	5点				
		② 全保険者の上位5割	0点	5点				
		③ 全保険者の上位3割	0点	5点				
		④ 全保険者の上位1割	0点	5点				

配点合計 100点	府中市	50点
	全国平均	47.8点
	東京都平均	42.8点
	26市平均	44.4点

配点合計 400点	府中市	248点	府中市順位
	全国平均	219.2点	569/1741
	東京都平均	230.9点	25/62
	26市平均	246.3点	15/26

※本資料における得点合計などの数値については、端数処理を行っているため、合計と内訳が一致しない場合があります